

(3) 合乳体細胞数検査成績

良質な生乳を生産することによる酪農経営の安定化および消費の拡大を図るため、衛生的に優れた品質の生乳確保を期して体細胞数検査を実施しました。

ア. 方 法

(ア) 試 料

生乳取引の行われる工場において、C SおよびB Cから搬入される合乳を対象としました。

(イ) 検査回数

旬間 1 回以上

(ウ) 試料採取箇所および方法

C SおよびB Cを経由した試料をタンクローリーから採取しました。

(エ) 検査方法

蛍光光学式体細胞数測定機により検査しました。

イ. 結 果

表 7 に月別および地区別の体細胞数検査成績を示し、表 8 に地区別成績の内訳を示しました。検査延試料数および検体数はそれぞれ 69, 512 試料、139, 024 検体（1 試料当たり 2 検体）で、対象検査乳量は 750, 768. 9 t でした。

全道平均で体細胞数 30 万/ml 以下が 98. 6% で、前年度 (98. 5%) と比較して 0. 1 ポイント上回りました。また、20 万/ml 以下では 70. 5% と前年度 (68. 6%) と比較して 1. 9 ポイント向上しました。

月別の変動では 30 万/ml 以下の最高値は 11 月の 99. 2%、最低値は 8 月の 97. 3%、その範囲は 1. 9 ポイントで、夏季の低下が顕著でした。

図 3 に体細胞数 30 万/ml 以下および 20 万/ml 以下の月別変動を示しました。